

OAアシスト機能の概要

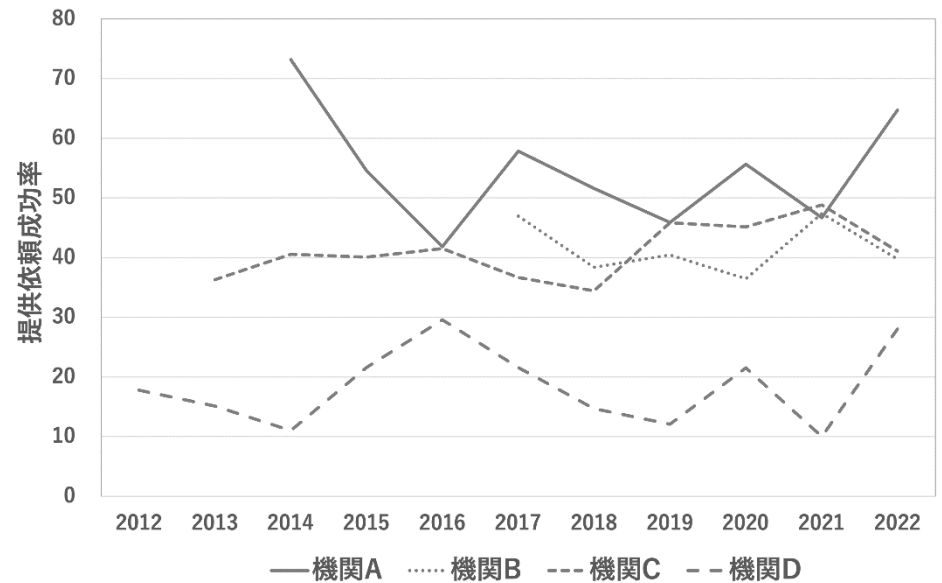
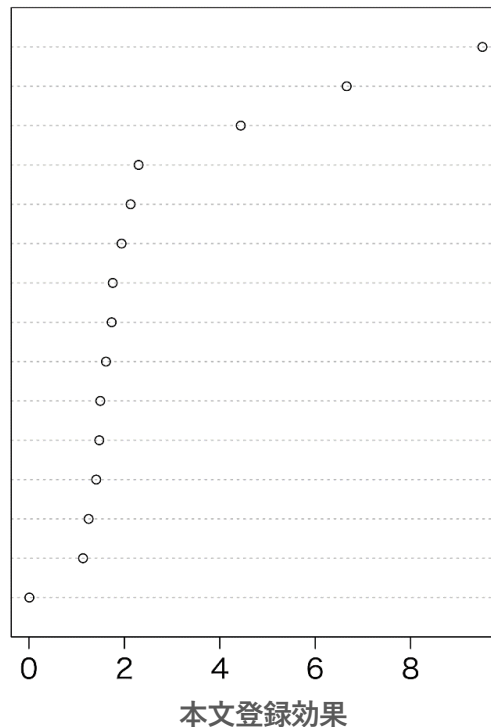
JPCOAR システム開発・連携作業部会

国立情報学研究所 河合将志

OA義務化政策の履行に効果的な施策

- ✓ 図書館主導の提供依頼の本文登録効果は大（成功率約40%）
- ✓ 助成論文OA化政策の履行にも提供依頼が効果的な可能性は大
主要助成機関は2017年から助成論文OA化を義務化

学術雑誌論文提供依頼
ダウンロード件数通知
IR担当職員数
OAウィークイベント
IR専用定常予算
OA方針
OA説明会
IR委員会
JAIRO Cloud
OA広報資料
OA委員会
APC支援
IR業務外部委託
IR業務規定
セルフアーカイブ



出典：情報知識学会誌「機関リポジトリによるオープンアクセス進捗率の因果分析」（一部修正・更新）

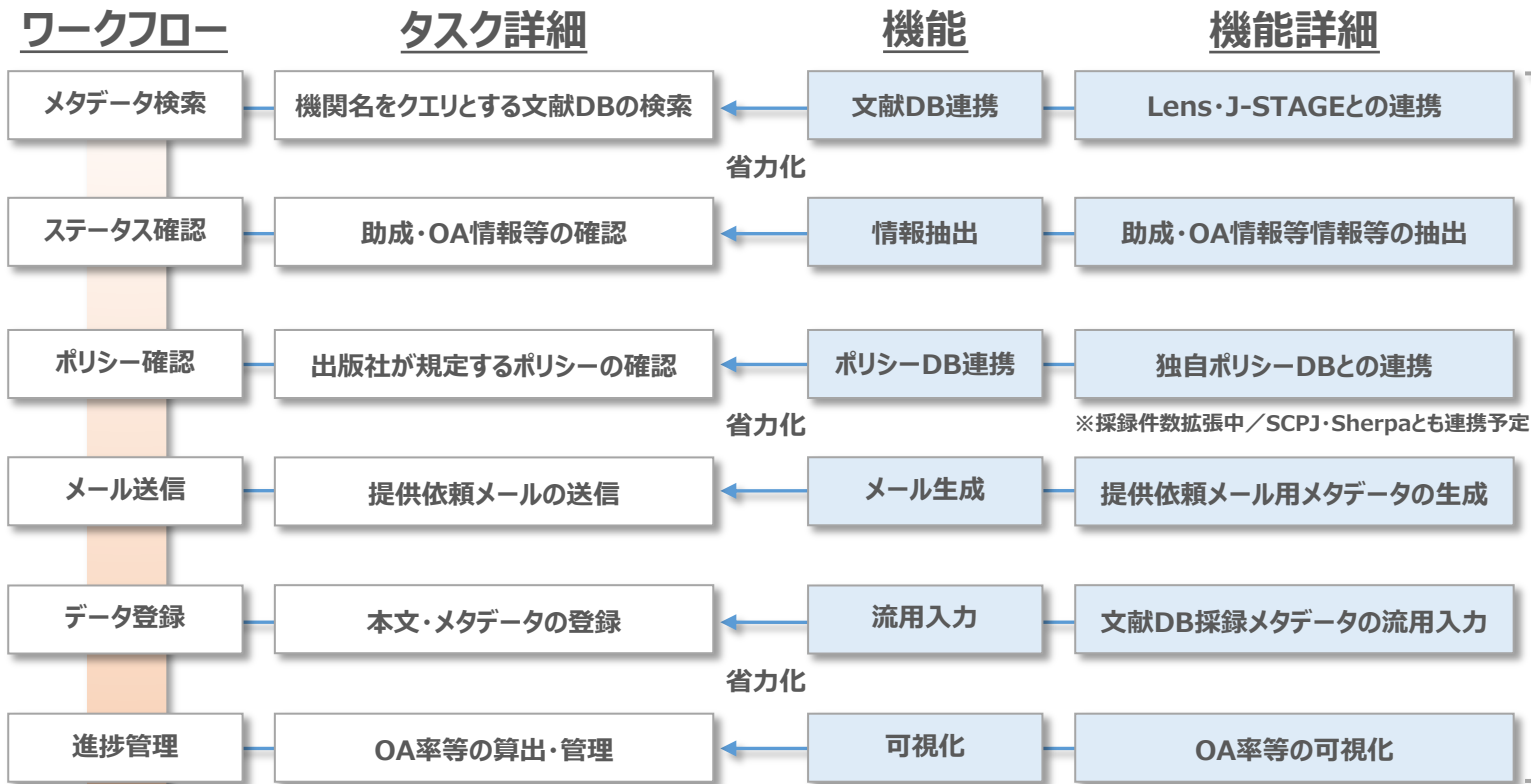
提供依頼の問題点と解決策

- ✓ 多数のタスクから成るワークフローを強いる提供依頼の実践は困難
- ✓ 実践にはワークフローを省力化する機能の開発が必要 → 開発



機能の概要と開発体制

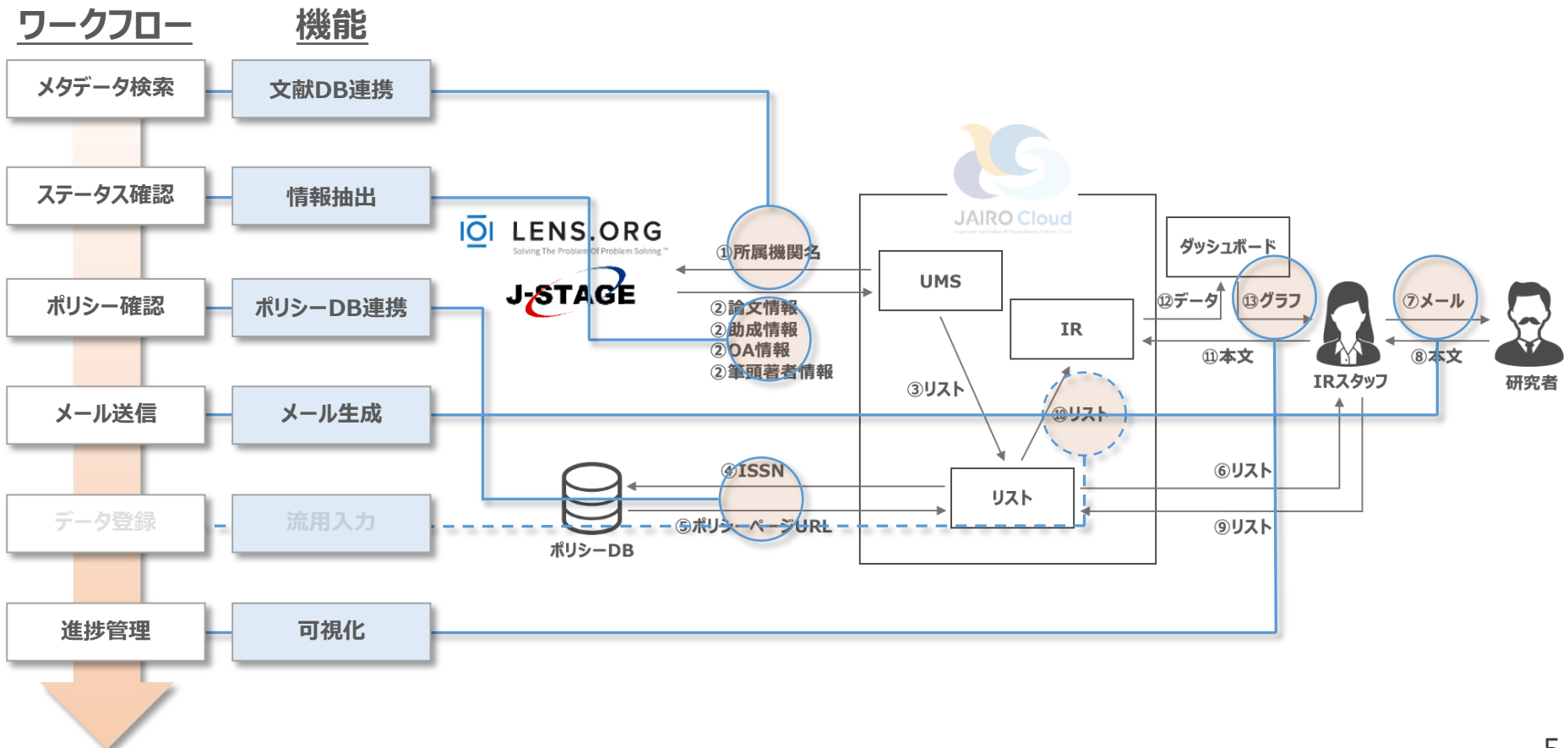
- ✓ 文献DB連携機能～可視化機能が各タスクの省力化を担当
ポリシー確認・メール送信については部分的に省力化
- ✓ 『OAアシスト機能』としてシステム開発・連携作業部会と共同開発



非JAIRO Cloudとの連携

✓ データ登録には未対応（流用入力機能なし）

✓ 対応化には機関リポジトリ（≠ OAアシスト機能）側の改修が必要



ユーザーインターフェイス

- ✓ メタデータ検索～データ登録については主にメインページで対応
- ✓ 進捗管理については主にダッシュボードで対応

ワークフロー

- メタデータ検索
- ステータス確認
- ポリシー確認
- メール送信
- データ登録
- 進捗管理

機能

- 文献DB連携
- 情報抽出
- ポリシーDB連携
- メール生成
- 流用入力
- 可視化

The screenshot displays the WEKO interface with several key features highlighted:

- 論文情報流用入力ボタン** (Paper Information Re-use Input Button): Located at the top of the search results page.
- 論文情報コピーボタン (依頼メール用)** (Paper Information Copy Button (for request email)): A button to copy paper information for email requests.
- 助成フラグ (助成種別は詳細ページ掲載)** (Funding Flag (Funding type is published on the detail page)): A column in the search results table.
- 論文情報** (Paper Information): The main content area showing search results for a paper on COVID-19.
- ポリシーページ・Sherpa** (Policy Page・Sherpa): A link to the policy page for the Sherpa database.
- 自機関用進捗グラフ** (In-house Progress Graph): A line chart showing progress over time for various categories (Not OA, My Green, Green, Gold, Hybrid, Bronze).
- 機関別進捗グラフ (本グラフは偽データから作成)** (Institutional Progress Graph (This graph is created from fake data)): A stacked bar chart showing progress by institution.

利用イメージ（大規模機関）

✓ 大規模機関の負担は大（助成論文数は多） → 悉皆OAは困難

✓ 非OA・筆頭著者フラグを絞込みに利用可能

ワークフロー

- メタデータ検索
- ステータス確認
- ポリシー確認
- メール送信
- データ登録
- 進捗管理

機能

- 文献DB連携
- 情報抽出
- ポリシーDB連携
- メール生成
- 流用入力
- 可視化

非OA・筆頭著者フラグ

小規模機関（NII）の条件別年間論文数

機関名：192件
 機関名 ∩ 助成：19件 **容易**
 機関名 ∩ 助成 ∩ 非OA：8件
 機関名 ∩ 助成 ∩ 非OA ∩ 筆頭著者：4件 **容易**

大規模機関（東京大学）の条件別年間論文数

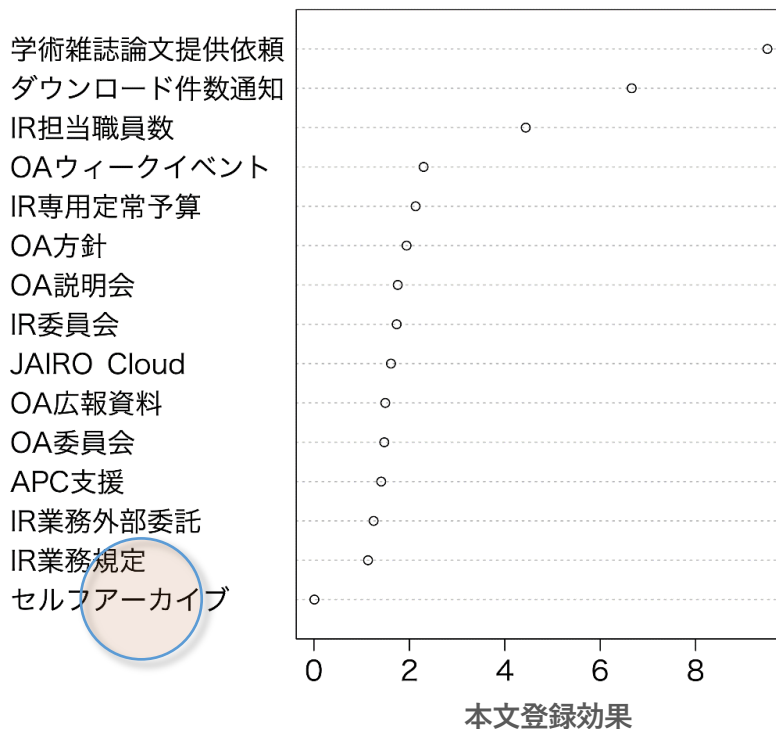
機関名：15159件
 機関名 ∩ 助成：3244件 **困難**
 機関名 ∩ 助成 ∩ 非OA：1101件
 機関名 ∩ 助成 ∩ 非OA ∩ 筆頭著者：500件 **容易**

※ Lens採録2022年度論文
 ※ 助成：JSPS・JST（Lens由来）

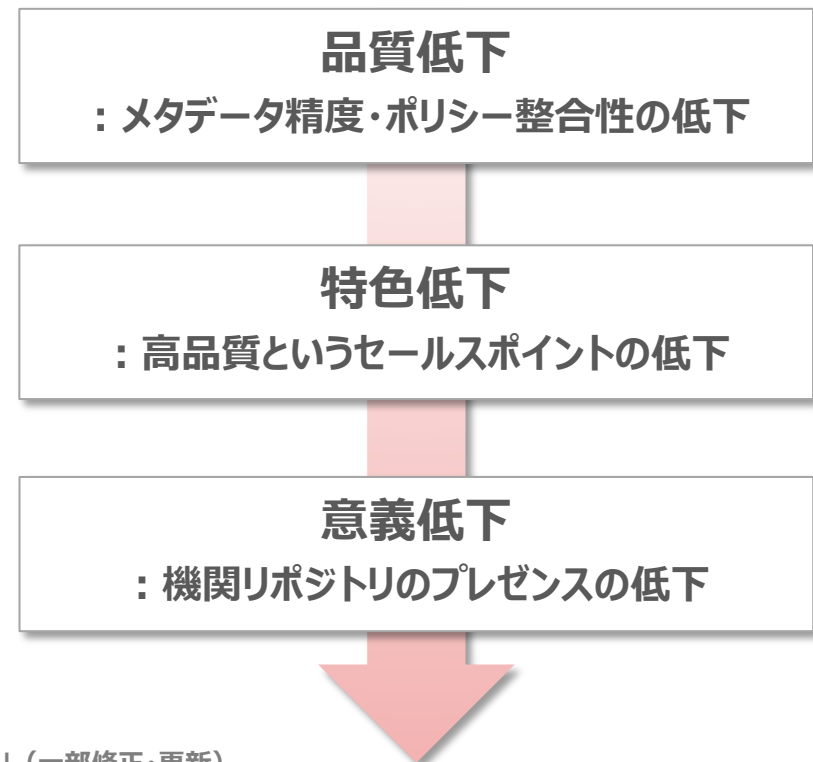
セルフアーカイブへの対応

- ✓ JAIRO Cloudの既存機能・GRDMの新機能が対応
- ✓ セルフアーカイブ推進時には直接的・間接的問題点への対応が必要

直接的問題点



間接的問題点



出典：情報知識学会誌「機関リポジトリによるオープンアクセス進捗率の因果分析」（一部修正・更新）

スケジュール

- ✓ オンライン説明会・利用機関募集を2024年度4月より開始予定
- ✓ 試運用で得られたフィードバックを本運用に反映予定

	2024年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オンライン説明会	✓	✓	✓									
利用機関募集	✓	✓	✓									
利用機関用データ作成				✓								
試運用					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※本運用の詳細は試運用期間に検討予定
 ※2024年度の試運用費用はNIIが負担予定

当面の問合せ先

m-kawai@nii.ac.jp